

庄内地域における森林整備について

1. これまでの森林整備の状況

庄内地域では、「やまがた緑環境税」を活用し、平成19年度から令和元年度までの13か年で荒廃のおそれのある森林の整備を約5,480ha実施しました。

来年度以降も引き続き、荒廃のおそれのある森林を健全な森林に導くため、森林の公益的機能が持続的に発揮されるよう間伐等の森林整備を推進していきます。

2. 令和2年度の森林整備について

〈針葉樹林維持型〉

手入れ不足で荒廃が進んでいるスギ林約7haで間伐及び森林作業道の整備を実施しました。不良木の伐採により、間伐後の林内には光が入るようになり、森林の健全化を図りました。



〈里山林整備〉

松くい虫被害により、活力が低下している庄内海岸のクロマツ林（約293ha）において、枯損木の倒木・枝折れ落下等による二次被害防止のため、枯損木の伐採及び破碎処理を実施しました。なお、伐採木の幹部分については、燃料用チップ等への有効活用を図りました。



〈森林作業道の整備・再造林等〉

林業事業者が実施した搬出間伐（約116ha）、森林作業道の整備（約16,900m）、再造林（約21ha）への支援を行いました。また、市が実施した森林景観整備（約0.2ha）への支援を行いました。



やまがた絆の森づくり

NDソフト・こもれびの郷

所在地 南陽市上野地内（ハイジアパーク南陽隣接地） 面積：3.00ha

協定者 NDソフトウェア㈱、南陽市、山形県

活動内容 私どもNDソフトウェア㈱は、介護・福祉関連ソフトウェアの開発・販売・サポートを行っており、環境保全とCSR活動を同時に推進すべく、平成23年にやまがた絆の森プロジェクトに参画し、「NDソフト・こもれびの郷プロジェクト」を発足しました。平成23年4月より、地域に密着した森づくり活動（下刈り・草刈・間伐・歩道敷設等）を通じて、地域活性化を目指しています。

令和2年度は2期目の最終年度を迎えており、「森から生まれたものは森に帰す、森で使う」をコンセプトに、森の恵みを有効活用しながら、ハイジアパーク南陽と一体化したこもれび溢れる癒しの空間の創出と、誰もが気軽に訪れられる里山を目指しております。



企業局絆の森 月山仁田山

山形県企業局

所在地 西川町大字月岡字仁田山地内 面積：10.71ha

協定者 山形県企業局、西川町、本道寺地区会、山形県

活動内容 山形県企業局は、水源に位置する森林の公益的機能の維持・向上を図るため、水環境を保全する活動の重要性をPRするとともに、平成26年度から村山広域水道（寒河江川）の水源に位置する森林を対象に「やまがた絆の森協定」を締結し、森づくり活動に取り組んでいます。

主な活動は、職員と地域の方々によるブナの植林を行った土地の下刈りと杉の木の間伐・枝払いとなっています。

現在3期目となりましたが、今後も地域の方々との交流を深め、活動の定着化と環境保全を図っていきます。



推進事業の取組み

(みどり自然課)

伊藤園 お〜いお茶の森

所在地 西川町大字大井沢字サチラ森地内 面積：2.93ha

協定者 (株)伊藤園、(公財)山形県林業公社((公財)やまがた森林と緑の推進機構)、山形県

活動内容 私ども(株)伊藤園では、「お茶で山形を美しく。」と題して、弊社の「お〜いお茶」ブランド全飲料製品の売上の一部を、山形県の「やまがた百名山」環境保全事業のために寄付をさせていただき取組みを実施しております。具体的な活動としては、西川町にある「お〜いお茶の森」と称した場所での育樹活動(下刈り、枝打ち)を関係者と県民の皆さまと行っております。

また、地理的に「寒河江ダム水系」にあたり、下流域には弊社ドリンク製品の製造工場がございます。「森づくり」、「水づくり」活動を通じて、山形県内の皆さまとのつながりを持ち、地域貢献の一助となればと活動を推進してまいります。



南陽・「草木の森」

所在地 南陽市宮内地内 面積：75.85ha

協定者 国土防災技術(株)、(公財)山形県林業公社((公財)やまがた森林と緑の推進機構)、山形県

活動内容 国土防災技術(株)は、災害を防止するため「土と水と緑」に関する技術を追求してきました。土砂災害など数多くの経験から得られた技術を地域の森林再生に役立てるため、南陽市において森づくり活動に取り組んでいます。

この取組みは平成16年度に企業の森づくり協定を締結してスタートしました。最初にスギ幼齢林の下刈りや除伐から始まった活動は、現在、裸地の森林再生へと拡大し、肥料や土壌改良剤の導入さらには窒素固定促進のための肥料木の植栽と多様な手法を試行しています。もちろん、下刈り等の保育管理と成長量調査も定期的に行いながら早期の再生を目指しています。また、地元宮内地区の皆さまとの交流や森林育成技術に関する研修会も並行して行っております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動参加者を山形支店及び仙台支店に限定し、少数で下刈り、成長量調査及び四阿の再塗装を行いました。



(1) 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (市町村提案型))

【東根市の取組み】

東根市では、平成20年度から一般社団法人関山愛林公益会と連携し、高崎小学校児童を対象とした森林学習を行っています。児童たちは、地域の伝統産業である関山炭づくり体験を中核に高崎地区の歴史と文化、人々の生活について学んでいます。体験の集大成である「里山キッズドリームランド(KDL)まつり」は、児童による関山炭の販売や森林散策・きのこの菌打ち・植樹などの森林体験活動、関山炭を活用した手作り料理で地域の皆さんに感謝を伝えるもので、全校をあげての一大イベントです。

令和2年度はコロナ禍の中、新しい生活様式に沿った内容を模索し、飲食を伴う活動の自粛、参加人数の縮小、時間短縮、少人数班で場所を分散しての活動を実施しました。

関山炭づくりを通して森林の役割や里山の大切さを学んだ児童たちは、これからも校外活動を実施し、地域と学校の絆を深め、里山文化を未来に継承するための活動に取り組んでいきます。



(2) NPOや地域のボランティア団体等による森づくり活動

(みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (県民提案型))

【富本小学校後援会の取組み】

富本小学校後援会(村山市)では学校林を活用し、各学年の教科の中で、木工クラブ体験や動植物観察など、児童への自然学習を行っています。中でも卒業を控えた6年生は、学校林の木を使ったベンチや卒業記念品を製作します。森林伐採、製材品の生産、加工、自らの手による利用までを体験できることは貴重であり、小学校卒業という節目を彩る大切な思い出となっています。今後も森林での活動を通して、児童の郷土愛を育む活動に取り組んでいきます。



【蔵王地区保全会の取組み】

蔵王地区保全会(山形市)では、地域沿線道周辺や共有地の老朽化した木々を整備し、地域の森林環境保全活動を行っています。森林整備により道路や電線の支障木は減少し、伐採した樹木は薪として地域住民に利用してもらうことで、地域の活性化にも役立てています。来年度は伐採した樹木を利用し、子どもたちに薪割体験をしてもらう計画です。

森林整備のほかにも地域住民が憩える森づくり活動を来年度も進めていきます。

